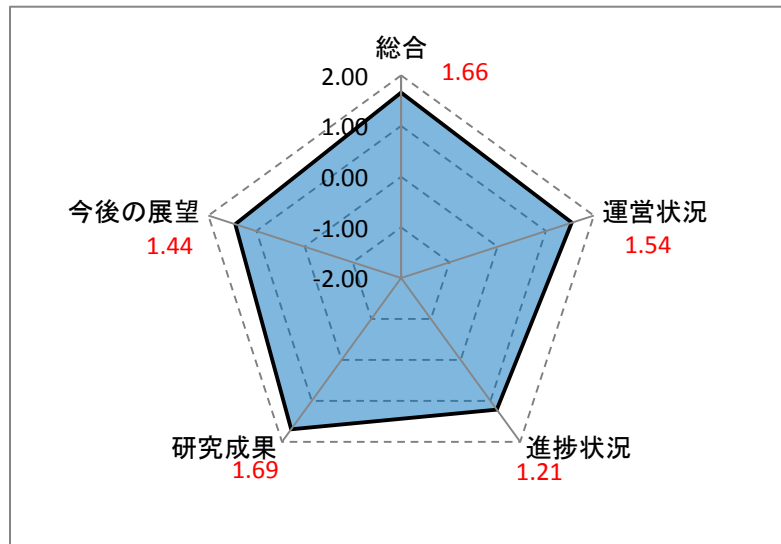


戦略的研究推進センター平成25年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：重点研究部門 S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	1.66	1.54	1.21	1.69	1.44	1.51
評価	A	A	B+	A	B+	A



(評価コメント)

第三期重点プロジェクト最終年度成果として各評価委員からは総じて肯定的意見が寄せられ、運営進捗状況と研究成果展望の両方で恒に模範を示し続けたプロジェクトであったと評価される。3年間安定した高評価を受け、本学の看板のプロジェクトであった。ただし、本研究は、第一期重点プロジェクト（平成17-19年度）では「S-ナノテクプロジェクト」、第二期重点プロジェクト（平成20-22年度）では「S-匠ナノメディシンプロジェクト」として、いずれも酸化亜鉛の応用を中心に、継続して厚く支援されて伸びてきた特異な研究分野であったことも考慮して評価されるべきであろう。9年間に渡りプロジェクトチームを率いて常に高い評価を得て発展させてきたリーダー藤田教授（第一期は広光教授）の貢献は大きく、また、それを支えてきた第一期～第三期のチームメンバーおよび研究戦略会議の役割も重要であったと評価される。その9年間のたゆまぬ努力の結果として今年度の評価があり、基礎研究としては一定の成果を挙げ、また、太陽電池・電力貯蔵デバイス・ナノ粒子の医療食品利用・ナノ金属材料・安全性評価など、応用化に向けても方向性を具体的に示し、製品化の青写真が見えそうな段階にまで到達するに至ったと判断される。

しかしながら、具体的な製品化に向けては、さらにいくつかのハードルがあることも明らかになったことで、9年間続いた基礎研究としての本プロジェクトはその終点が見え、一定の役割を終えたと見ることが出来る。今後は、これを区切りとして、本重点プロジェクトで育成された若手リーダーや派生した新プロジェクト（生物ラマン分光プロジェクトなど）、および新規プロジェクトセンターや外部資金研究・共同研究などに着実に引き継がれていくことが望まれる。さらには、本重点プロジェクトで挙げられた価値の高い応用的研究成果・特許を基盤とし、社会貢献を目的として、今後は競争力のある製品が確実に生成され、目に見える形で普及していくことを期待する。

H23～25年度 重点研究部門の評価得点の比較

S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
H23得点	1.85	1.73	1.55	1.79	1.63	1.71
H24得点	1.65	1.77	1.60	1.81	1.65	1.70
H25得点	1.66	1.54	1.21	1.69	1.44	1.51

